

「海の観察ノート No. 14 ゴカイのなかまを観察しよう」 に収録された多毛類標本について

柳 研介

千葉県立中央博物館分館海の博物館
〒299-5242 千葉県勝浦市吉尾123
E-mail: yanagi@chiba-muse.or.jp

要 旨 千葉県沿岸の多毛類相については、2011年時点で37科167種が報告されている。その後、2018年に出版されたフィールドガイド「海の観察ノートシリーズ No. 14 ゴカイの仲間を観察しよう」において、2001年以降に採集された標本に基づいて28科67種の多毛類が掲載された。本報告では、当該フィールドガイドに掲載された種のうち、図示された標本が千葉県立中央博物館分館海の博物館の登録標本となっている47種について、フィールドガイド上では省略された各標本の登録番号を示すとともに、補足すべき情報について報告する。

キーワード：海の観察ノート、ゴカイのなかまを観察しよう、千葉県、多毛類

多毛類はかつて環形動物門のうち、ミミズなどが含まれる貧毛綱、ヒルの仲間のヒル綱とともに、ゴカイやイソメ類に代表される多毛綱として位置づけられた動物群であったが（例えば三浦・白山, 2000）、分子系統学による解析が進むにつれて、かつての多毛類は環形動物門内の多系統群として認識されるようになってきた（例えば Weigert and Bleidorn, 2016; 佐藤・狩野, 2016; 田中, 2016）。環形動物門は、多毛類とされてきた動物群のうちミズヒキゴカイ類やフサゴカイ類を含む定在類、イソメ類やサシバゴカイ類が含まれる遊在類に大きく分けられるが、このうちかつて貧毛綱、ヒル綱として独立させられていたグループは両者とも定在類の1グループ、環帯類としてまとめられている。一方、多毛類として認識されているチマキゴカイ類やモロテゴカイ類、ツバサゴカイ類、ウミケムシ類などは、定在類や遊在類には含まれない。このようなことから、現在、多毛類は単一の系統群を指す用語ではなくなっている（佐藤・狩野, 2016）が、本稿では従来の多毛綱に含まれていたグループを総称して「多毛類」と称する。

千葉県産の多毛類相については、特に沿岸域に産するものとして、Nishi and Kupriyanova (2011) によって既往の文献情報及び著者らの独自調査から37科167種が報告されている。しかし、本報告では各々の種の記録の根拠となる標本情報が示されておらず、特に既往文献にも標本情報や詳細な記載がない場合（例えば内田, 2000）、その出現記録について疑義が生じた場合、再検討を行うことが困難である。また、Nishi and Kupriyanova (2011) では、必ずしも全ての既往文献による千葉県内の出現記録が網

羅されていないため（例えば今島, 1975; 渡辺, 1973, 1975）、この数字は過小評価されていることも考慮しなければならない。

千葉県立中央博物館分館海の博物館（以下、海の博物館）では、海の生きもの観察ノートシリーズとして、千葉県内で見られる海洋生物に関するフィールドガイドを刊行している。2018年に刊行された「海の生きもの観察ノート No. 14 ゴカイのなかまを観察しよう」（柳, 2018）では28科66種の多毛類が掲載されているが、このなかには、Nishi and Kupriyanova (2011) に掲載されていない種や未同定種も含まれているため、本稿では上記フィールドガイドに掲載された種のうち、海の博物館に図示された標本が登録されているもの47種（未同定種含む）について、その標本情報を記す。

材料と方法

本稿で記録する標本情報は、柳（2018）によって図示された個体うち海の博物館に標本が登録・保存されているものを対象とした。ただし、柳（2018）に掲載された次の種（p. 7 コガネウロコムシのなかま; p. 12 タマシリスのなかま; p. 15 コケゴカイ; p. 19 ササラウミケムシ; p. 20 オニイソメ; p. 23 スナタバムシ, ツバサゴカイ, アミメオニスピオ, ミツバナスピオ, ホソエリタテスピオ; p. 25 カンテンハボウキ; p. 26 イソタマシキゴカイ; p. 27 タケフシゴカイのなかま; p. 28 ヒガタケヤリムシ, オオメケヤリ, ミナミエラコ; p. 29 イバラカンザシ, ウズマ

キゴカイのなかま、ヤッコカンザシ、シライトゴカイ)については、標本が未登録、標本が採集されていない、掲載された写真が現在も飼育中である、などの理由から登録番号が付されておらず、今回の報告から除外した。

また、当該個体と同時に採集され当該出版物作成時に同一種と判断された標本についても同様に扱った。各々の標本情報は海の博物館環形動物門標本登録台帳に記載されているデータに基づいた。これらの標本は2001年から2018年2月までに採集あるいは漁業者等から提供を受けたものである。海の博物館の資料収集活動として独自に採集したもののうち、許可が必要な漁具・漁法(スクーバダイビング等)を用いて採集したものについては、関係漁業協同組合の同意および特別採捕許可を得た。採集者欄に船名の記載のあるものは、漁業従事者による漁獲混獲物から得られたことを示す。標本の登録記号CMNH-ZWは、千葉県立中央博物館分館海の博物館環形動物門標本登録番号である。「掲載された標本」、「掲載ページ」とあるのは、断りのない限りそれぞれ柳(2018)に掲載された標本、掲載されたページを示す。また、使用している和名及び学名は、柳(2018)を踏襲した。

結果

ウロコムシ科 Family Polynoidae

サンハチウロコムシ *Hermilepidonotus helotyus*
(Grube, 1877)

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2005: 銚子市君ヶ浜 (35.70872°N, 140.86905°E); 潮間帯; 2004年4月21日; 立川浩之・奥野淳兒・柳 研介・村田明久採集; 10%海水ホルマリン固定・70%エタノール保存; 掲載ページ, p. 8 (写真: 上段左, 背面全体像1点)。

CMNH-ZW 2244: 館山市沖の島 (34.99112°N, 139.82319°E); 潮間帯; 2017年6月27日; 柳 研介採集; 70%エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 8 (写真: 上・中段, 背腹全体像各1点, 腹面疣足部拡大像1点)。

ハモチウロコムシ *Lepidonotus dentatus* Okuda
in Okuda and Yamada, 1954

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2247: 館山市沖の島 (34.99112°N, 139.82319°E); 潮間帯; 2017年6月27日; 柳 研介採集; 70%エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 8 (写真: 下段, 背腹面全体像各1点)。

コブツキウロコムシ *Paralepidonotus ampulliferus*
(Grube, 1878)

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2248: 館山市沖の島 (34.99112°N, 139.82319°E); 潮間帯; 2017年6月27日; 柳 研介採集; 70%エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 9 (写真: 上段, 背腹面全体像各1点, 背腹面頭部拡大像各1点)。

トゲウロコムシ科 Family Iphionidae

トゲウロコムシのなかま *Iphione* sp.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2040: 館山市波左間 (34.97611°N, 139.78333°E); 水深3m; 2006年12月13日; 柳 研介採集; 10%海水ホルマリン固定・70%エタノール保存; 掲載ページ, p. 9 (写真: 中段左, 背面全体像1点)。

ウロコムシ科 Family Polynoidae

ナガウロコムシ *Lepidasthenia izukai* Imajima and Hartman,
1964

[掲載された標本]

CMNH-ZW 1919: 勝浦市吉尾港 (35.13676°N, 140.28883°E); 潮間帯; 2003年5月30日; 柳 研介採集; 10%海水ホルマリン固定・70%エタノール保存; 掲載ページ, p. 9 (写真下段, 背面全体像1点, 頭部拡大像1点)。

マダラウロコムシのなかま *Harmothoe* sp.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2203: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.13394°N, 140.28488°E); 潮間帯; 2017年6月24日; 柳 研介採集; 70%エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 10 (写真: 上段左, 背腹全体像2点)。

ウロコムシのなかま Polynoidae sp.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 1914: 鴨川市マンクロウ根 (35.08862°N, 140.11296°E); 水深15m; 2002年12月18日; 柳 研介採集; 10%海水ホルマリン固定・70%エタノール保存; 掲載ページ, p. 10 (写真: 上段右上, 側面全体像1点)。

CMNH-ZW 1895: 鴨川市粟斗根 (35.08566°N, 140.10803°E); 水深15~20m; 2002年12月18日; 柳 研介採集; 10%海水ホルマリン固定・70%エタノール保存; 掲載ページ, p. 10 (写真: 上段右下, 背面全体像1点)。

ノラリウロコムシ科 Family Sigalionidae

フタコブウロコムシ (スナウロコムシ) *Pelogenia zeylanica*
(Willey, 1905)

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2113: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.13421°N, 140.28489°E); 潮間帯; 2015年6月14日; 柳 研介採集; 70%エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 10 (写真: 下段中央, 全体像1点)。

CMNH-ZW 2114: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.13421°N, 140.28489°E); 潮間帯; 2015年6月14日; 柳 研介採集; 70%エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 10 (写真: 下段右, 伸長した背面全体像1点)。

シリス科 Family Syllidae

カサネシリス *Amblyosyllis speciosa* Izuka, 1912

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2202: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.13394°N,

140.28488°E)；潮間帯；2017年6月13日；柳 研介採集；70%エタノール固定・保存；掲載ページ，p. 11（写真：上段中央，背面全体像1点）。

フクロシリシス *Megasyllis inflata* (Marenzeller, 1879)

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2208: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.13394°N, 140.28488°E)；潮間帯；2017年6月13日；柳 研介採集；70%エタノール固定・保存；掲載ページ，p. 11（写真：中段左，背面全体像1点）。

クロモンシリシス *Odontosyllis madagascariensis*
(Gravier, 1905)

[掲載された標本]

CMNH-ZW 1916: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.13394°N, 140.28488°E)；潮間帯；2003年5月30日；柳 研介採集；10%海水ホルマリン固定・70%エタノール保存；掲載ページ，p. 11（写真：下段，背面全体像1点，頭部拡大像1点）。

シリシスのなかま *Syllidae* sp.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 1892: 鴨川市マンクログ根 (35.08862°N, 140.11296°E)，水深15m；2002年12月18日；柳 研介採集；10%海水ホルマリン固定・70%エタノール保存；掲載ページ，p. 12（写真：上段左，背面全体像1点）。

シリシスのなかま *Syllis* sp.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2083: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.13421°N, 140.28489°E)；潮間帯；2014年5月16日；柳 研介採集；70%エタノール固定・保存；掲載ページ，p. 12（写真：下段，背面全体像1点，頭部拡大像1点）。

サシバゴカイ科 **Family Phyllodocidae**

ウロコサシバのなかま *Notophyllum* sp.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2089: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.13421°N, 140.28489°E)；潮間帯；2014年6月13日；柳 研介採集；70%エタノール固定・保存；掲載ページ，p. 13（写真：上段，背面全体像2点，腹面全体像1点）。

アケノサシバ *Nereiphylla castanea* (Marenzeller, 1879)

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2129: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.13421°N, 140.28489°E)；潮間帯；2015年6月4日；柳 研介採集；70%エタノール固定・保存；掲載ページ，p. 13（写真：下段上，背面全体像1点）。

CMNH-ZW 1867: 勝浦市吉尾港 (35.13676°N, 140.28883°E)；潮間帯；2002年5月28日；柳 研介採集；10%海水ホルマリン固定・70%エタノール保存；掲載ページ，p. 13（写真：下段下，背面全体像1点，頭部拡大像1点）。

ゴカイ科 **Family Nereididae**

ヤマトカワゴカイ *Hediste diadroma* Sato
and Nakashima, 2003

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2198: いすみ市夷隅川河口 (35.28233°N, 140.40176°E)；潮間帯；2015年7月16日；柳 研介採集；70%エタノール固定・保存；掲載ページ，p. 14（写真：上段，背腹面全体像各1点，背腹面頭部拡大像各1点）。

ヒメヤマトカワゴカイ *Hediste atoka* Sato
and Nakashima, 2003

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2086: いすみ市夷隅川河口 (35.28233°N, 140.40176°E)；潮間帯；2014年6月12日；柳 研介採集；70%エタノール固定・保存；掲載ページ，p. 14（写真：中段，背面全体像1点，背腹面頭部拡大像各1点）。

イトメ *Tylorrhynchus osawai* (Izuka, 1903)

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2088: いすみ市夷隅川河口 (35.28233°N, 140.40176°E)；潮間帯；2014年6月12日；柳 研介採集；70%エタノール固定・保存；掲載ページ，p. 14（写真：下段，全体像1点，背腹面頭部拡大像各1点）。

クマドリゴカイ *Perinereis euini* Park and Kim, 2017

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2058: 木更津市小櫃川河口干潟 (35.41316°N, 139.89751°E)；潮間帯；2007年5月18日；柳 研介採集；10%海水ホルマリン固定・70%エタノール保存；掲載ページ，p. 15（写真：下段左，背面体全部拡大像1点）。

ツルヒゲゴカイ *Platynereis bicanaliculata* (Baird, 1863)

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2250: 館山市沖の島 (34.99112°N, 139.82319°E)；潮間帯；2017年6月27日；柳 研介採集；70%エタノール固定・保存；掲載ページ，p. 15（写真：中段・下段右，背面全体像1点，背腹面頭部拡大像各1点）。

オトヒメゴカイ科 **Family Hesionidae**

ナンカイオトヒメゴカイ *Amphiduros fuscescens*
(Marenzeller, 1875)

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2201: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.133947°N, 140.284886°E)；潮間帯；2017年6月24日；柳 研介採集；70%エタノール固定・保存；掲載ページ，p. 16（写真：上段，背腹面全体像各1点，背腹面頭部拡大像各1点）。

オトヒメゴカイ *Hesione reticulata* Marenzeller, 1879

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2126: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.133947°N, 140.284886°E); 潮間帯; 2015年6月5日; 瀧口和弘採集; 70% エタノール保存・固定; 掲載ページ, p. 16 (写真: 下段, 背腹面全体像各1点).

コブオトヒメ *Leocrates chinensis* Kinberg, 1866

[掲載された標本]

CMNH-ZW 1874: 館山市沖の島 (34.99132°N, 139.82345°E); 2002年6月28日; 潮間帯; 立川浩之・奥野淳児・柳 研介採集; 10% 海水ホルマリン固定・70% エタノール保存; 掲載ページ, p. 17 (写真: 上段, 背面全体像1点).

チロリ科 Family Glyceridae

チロリのなかま *Glycera* sp.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2079: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.13421°N, 140.28489°E); 潮間帯; 2014年5月16日; 柳 研介採集; 70% エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 17 (写真: 中段右, 背面全体像1点).

CMNH-ZW 2080: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.13421°N, 140.28489°E); 潮間帯; 2014年5月16日; 柳 研介採集; 70% エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 17 (写真: 中段左, 背腹面頭部拡大像各1点).

ウミケムシ科 Family Amphinomidae

ウミケムシ *Chloeia flava* (Pallas, 1766)

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2093: 館山市鏡浦 (35.008°N, 139.844°E); 水深不明 (船上からの釣り); 2002年10月24日; 立川浩之採集; 10% 海水ホルマリン固定・70% エタノール保存; 掲載ページ, p. 18 (写真: 上段, 背腹面全体像各1点).

セナジリウミケムシのなかま *Notopygos* sp.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2103: 勝浦市沖キンメ場 (34.9250°N, 140.4167°E); 水深 439 m; 2017年12月1日勝浦沖; 不動丸採集; 70% エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 18 (写真: 下段, 背腹面全体像各1点).

ハナオレウミケムシ *Eurythoe complanata* (Pallas, 1766)

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2092: 館山市沖の島 (34.9920°N, 139.8271°E); 水深 2 m; 2014年7月15日; 柳 研介採集; 70% エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 19 (写真: 上段右, 背腹面全体像各1点).

ケハダウミケムシ科 Family Euphosinidae

ケハダウミケムシのなかま *Euphosine* sp.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2094: 鋸南町浮島沖 (35.111°N, 139.768°E);

水深 330~350 m; 2001年2月13日; 立川浩之採集; 10% 海水ホルマリン固定・70% エタノール保存; 掲載ページ, p. 19 (写真: 下段左, 背面全体像1点).

イソメ科 Family Eunicidae

イワムシ *Marphysa* sp. cf. *iwamushi* Izuka, 1907

[掲載された標本]

CMNH-ZW 1921: 勝浦市吉尾漁港 (35.13676°N, 140.28883°E); 潮間帯; 2003年5月30日; 柳 研介採集; 10% 海水ホルマリン固定・70% エタノール保存; 掲載ページ, p. 20 (写真: 上段, 背面全体像1点, 頭部拡大像1点).

シボリイソメのなかま *Lysidice* sp.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2213: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.13394°N, 140.28488°E); 潮間帯; 2017年6月13日; 柳 研介採集; 70% エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 20 (写真: 中段, 背面全体像1点, 背腹面頭部拡大像各1点).

イソメのなかま *Eunice* sp.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2011: 銚子市君ヶ浜 (35.70872°N, 140.86905°E); 潮間帯; 2004年4月21日; 立川浩之・奥野淳児・柳 研介・村田明久採集; 10% 海水ホルマリン固定・70% エタノール保存; 掲載ページ, p. 21 (写真: 上段, 全体像1点).

マスダイソメ *Eunice masudai* Miura, 1986

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2219: 勝浦市沖キンメ場 (34.958°N, 140.475°E); 水深 585 m; 2009年3月11日; 清丸採集; 70% エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 21 (写真: 中段, 頭部拡大像1点).

CMNH-ZW 2105: 勝浦市沖キンメ場 (34.920°N, 140.417°E); 水深 494 m; 2017年12月1日; 不動丸採集; 70% エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 21 (写真: 中段, 背腹面全体像各1点).

ミンダナイソメ *Eunice mindanavensis* McIntosh, 1885

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2104: 勝浦市沖キンメ場 (34.9250°N, 140.4167°E); 水深 494 m; 2017年12月1日; 不動丸採集; 70% エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 21 (写真: 下段, 背腹面全体像各1点).

ギボシイソメ科 Family Lumbrineridae

ギボシイソメ *Lumbrineris japonica* (Marenzeller, 1879)

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2210: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.13395°N, 140.28489°E); 潮間帯; 2017年6月13日; 柳 研介採集; 徒手採集; 70% エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 22 (写真: 上段 背腹面全体像各1点).

セグロイソメ科 Family Oeonidae

セグロイソメ *Arabella iricolor* (Montagu, 1804)

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2214: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.13395°N, 140.28489°E); 潮間帯; 2017年6月13日; 柳 研介採集; 70% エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 22 (写真: 中段左, 背面全体像1点・頭部拡大像1点).

CMNH-ZW 2118: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.13421°N, 140.28489°E); 潮間帯; 2015年6月4日; 柳 研介採集; 70% エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 22 (写真: 中段右, 全体像1点).

ナナテイソメ科 Family Onuphidae

スゴカイイソメ *Diopatra sugokai* Izuka, 1907

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2184: 富津市富津岬 (35.313869°N, 139.787642°E); 潮間帯; 2017年7月26日; 柳 研介採集; 70% エタノール保存・固定; 掲載ページ, p. 22 (写真: 下段, 背面全体像1点, 棲管1点, 背腹面頭部拡大像各1点).

フサゴカイ科 Family Terebellidae

フサゴカイのなかま Terebellidae sp.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2043: 銚子市君ヶ浜 (35.70872°N, 140.86905°E); 潮間帯; 2007年4月20日; 立川浩之・柳 研介採集; 70% エタノール保存・固定; 掲載ページ, p. 24 (写真: 上段左, 全体像1点).

フサゴカイのなかま Terebellidae sp.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2112: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.13421°N, 140.28489°E); 潮間帯; 2015年6月4日; 柳 研介採集; 70% エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 24 (写真: 上段右, 全体像1点).

ミズヒキゴカイ科 Family Cirratulidae

ミズヒキゴカイのなかま *Cirriformia* sp.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2223: 富津市富津岬 (35.31387°N, 139.78764°E); 潮間帯; 2017年7月26日; 柳 研介採集; 70% エタノール保存・固定; 掲載ページ, p. 24 (写真: 中段, 全体像1点).

CMNH-ZW 2224: 富津市富津岬 (35.31387°N, 139.78764°E); 潮間帯; 2017年7月26日; 柳 研介採集; 70% エタノール保存・固定; 掲載ページ, p. 24 (写真: 下段右, 頭部拡大像1点).

クマノアシツキ科 Family Acrocirridae

クマノアシツキ *Acrocirrus validus* Marenzeller, 1879.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2243: 館山市沖の島 (34.99112°N, 139.82319

°E); 潮間帯; 2017年6月27日; 柳 研介採集; 70% エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 25 (写真: 上段左, 背腹面頭部拡大像各1点, 疣足部拡大像1点).

ウミイサゴムシ科 Family Pectinariidae

ウミイサゴムシ *Lagis bocki* (Hessle, 1917)

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2108: 東京都港区お台場海浜公園 (35.634625°N, 139.774687°E); 水深4m; 2016年3月27日; 多留聖典採集; 70% エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 25 (写真: 下段下, 背腹面全体像各1点).

イトゴカイ科 Family Capitellidae

イトゴカイのなかま Capitellidae sp.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2200: いすみ市夷隅川河口 (35.28233°N, 140.40176°E); 潮間帯; 2015年7月16日; 柳 研介採集; 70% エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 26 (写真: 上段上, 全体像1点).

イトゴカイのなかま Capitellidae sp.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2109: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.13421°N, 140.28489°E); 潮間帯; 2015年6月4日; 柳 研介採集; 70% エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 26 (写真: 上段下, 全体像1点, 頭部拡大像1点).

タマシキゴカイ科 Family Arenicolidae

タマシキゴカイ *Arenicola brasiliensis* Nonato, 1958

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2200: 館山市沖の島 (34.99112°N, 139.82319°E); 潮間帯; 2017年6月27日; 柳 研介採集; 70% エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 26 (写真: 下段左, 側面全体像1点, 頭部拡大像1点).

オフエリアゴカイ科 Family Opheliidae

ツツオフエリア *Armandia* sp. cf. *amakusaensis* Saito, Tamaki and Imajima, 2000

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2200: 木更津市小櫃川河口干潟 (35.41316°N, 139.89751°E); 潮間帯; 2007年5月18日; 柳 研介採集; 10% 海水ホルマリン固定・70% エタノール保存; 掲載ページ, p. 27 (写真: 上段下, 腹面全体像1点).

カスリオフェリア *Polyophthalmus pictus* (Dujardin, 1839)

[掲載された標本]

CMNH-ZW 1879: 館山市沖の島 (34.99132°N, 139.82345°E); 2002年6月28日; 潮間帯; 立川浩之・奥野淳兒・柳 研介採集; 10% 海水ホルマリン固定・70% エタノール保存; 掲載ページ, p. 27 (写真: 上段下, 側面全体像1点).

備考: 柳 (2018) で使用された本種の属名 “*Polyophthalmus*”

は誤りである。

カンムリゴカイ科 Family Sabellariidae

カンムリゴカイのなかま Sabellariidae sp.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2046: 銚子市君ヶ浜 (35.70872°N, 140.86905°E); 潮間帯; 2007年4月20日; 立川浩之・柳 研介採集; 10% 海水ホルマリン固定・70% エタノール保存; 掲載ページ, p. 27 (写真: 下段左, 側面頭部半身像 1 点).

ケヤリムシ科 Family Sabellidae

ケヤリムシのなかま Sabellastarte sp.

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2216: 勝浦市吉尾海の博物館前の磯 (35.13395°N, 140.28489°E); 潮間帯; 2017年6月13日; 柳 研介採集; 70% エタノール固定・保存; 掲載ページ, p. 28 (写真: 上段, 背腹面全体像各 1 点, 鰓冠上面像伸長時・収縮時各 1 点).

カンザシゴカイ科 Family Serpulidae

エゾカサネカンザシゴカイ *Hydroides ezoensis* Okuda, 1934

[掲載された標本]

CMNH-ZW 2013: 銚子市君ヶ浜 (35.70872°N, 140.86905°E); 潮間帯; 2004年4月21日; 立川浩之・奥野淳児・柳 研介・村田明久採集; 10% 海水ホルマリン固定・70% エタノール保存; 掲載ページ, p. 29 (写真: 下段右の左, 棲管に入った全体像 1 点).

CMNH-ZW 2064: 木更津市小櫃川河口干潟 (35.41316°N, 139.89751°E); 潮間帯; 2007年5月18日; 柳 研介採集; 10% 海水ホルマリン固定・70% エタノール保存; 掲載ページ, p. 29 (写真: 下段右の右, 棲管から抜いた全体像 1 点).

考 察

本報告では, 単に柳 (2018) に掲載された種について, それらの標本の登録情報について記したのみであるが, これらは参照可能な標本を伴う産地記録という点において, 千葉県が多毛類相を検討する上で重要である。本報告で標本情報を伴ってリストされた種のうち, サンハチウロコムシ, ハモチウロコムシ, フタコブウロコムシ, フクロシリリス, クロモンシリリス, ハナオレウミケムシ, マスダイソメ, ミンダナイソメ及びカスリオフェリアの 9 種については, Nishi and Kupriyanova (2011) に掲載されていない。Nishi and Kupriyanova (2011) が対象としている種は沿岸性ということを考えて, 前述の種のうち, マスダイソメ及びミンダナイソメは深海性であり, 特にマスダイソメについては房総半島沖がタイプ産地であることから, あえて両種が掲載されていないものと考えられる。また, 上記のうちクロモンシリリス, サンハチウロコムシ及びカスリオフェリアについては, 既往文献記録が

ある (今島, 1975; 渡辺, 1973, 1975; 内田, 2000)。しかしその他の 4 種 (ハモチウロコムシ, フタコブウロコムシ, フクロシリリス及びハナオレウミケムシ) については, 潮間帯を含むごく浅い海域に普通に生息しているものの, これまで千葉県産の記録がなかった種である。また, 本報告で標本情報を掲載したもののなかには 19 種に及ぶ未同定種が含まれるが, これらの種についても, Nishi and Kupriyanova (2011) などの既往文献に含まれていない可能性がある。既往文献には, 標本情報が示されていないものが多く, 今後, 千葉県産の多毛類相を明らかにしていくためには, 証拠標本に基づいた目録を作成する必要性があるが, 現時点では本報告で標本情報を伴って示した 4 種を加え, 少なくとも 38 科 176 種が生息すると見積もられる。

日本産の多毛類の種数は, 今島 (2005) によると 930 種, 近年では, 株式会社環境総合テクノス環境部 (2018) の日本産の多毛類目録によって約 1200 種が報告されている。また自見 (2019) によれば, 現時点で日本産には約 1600 種の多毛類が分布しているとされており, 研究の進展に伴ってこの 14 年の間に約 700 種もの追加が認められる。千葉県の多毛類に関する調査研究の状況を鑑みると, 今後の研究の進展によって多くの種の追加が見込まれるだろう。

謝 辞

東邦大学の多留聖典博士, 鹿児島大学 (現慶應義塾大学) の田中正敦博士, 北海道大学 (現国立極地研究所) の自見直人博士には, 標本の同定に全面的に御協力いただいたほか, 多毛類の系統分類等について多くの有益な情報を御教示いただきました。3 氏の御協力なしには本稿を投稿することはできませんでした。また, 田中正敦博士, 自見直人博士には本稿について有益なコメントを多数いただきました。感謝いたします。

引用文献

- 今島 実. 1975. 小採集による多毛環虫類. お茶の水女子大学理学部付属館山臨海実験所研究報告, 2: 1-4.
- 自見直人. 2019. 日本産環形動物多毛類の分類学的研究 [論文内容及び審査の要旨]. 北海道大学博士 (理学) 甲第 13569 号. <http://hdl.handle.net/2115/74430>
- 株式会社環境総合テクノス環境部. 2018. 日本産の多毛類目録. 170 pp., 株式会社環境総合テクノス環境部, 大阪. <http://www.kanso.co.jp/environment/RandD/pdf/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E7%94%A3%E5%A4%9A%E6%AF%9B%E9%A1%9E%E5%88%86%E9%A1%9E%E7%9B%AE%E9%8C%B2.pdf>
- 三浦知之・白山義久. 2000. 環形動物門. 所収 白山義久 (編), 無脊椎動物の多様性と系統. pp. 203-211. 裳華房, 東京.
- Nishi, E. and E. K. Kupriyanova. 2011. Polychaete fauna of the Boso Peninsula coasts, with an appendix on polychaete type specimens deposited in Chiba Prefectural Museums. J. Nat. Hist. Mus. Inst., Chiba, Special Issue, (9): 45-60.

- 佐藤正典・狩野泰則. 2016. 総論: 環形動物の分類学研究. 月刊海洋, 号外 (57): 5-11.
- 田中正敦. 2016. ユムシ動物の系統的位置と高次系統分類に関する最近の進展. 月刊海洋, 号外 (57): 77-82.
- 内田紘臣. 2000. 環形動物. 所収 千葉県史料研究財団 (編), 千葉県の自然誌【本編 7】千葉県の動物 2 (海の動物), pp. 278-291. 千葉県史料研究財団, 千葉.
- 柳 研介. 2018. 海の生きもの観察ノートシリーズ No. 14 ゴカイのなかまを観察しよう (多留聖典・田中正敦・自見直人監修). 31 pp., 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 勝浦. <http://www2.chiba-muse.or.jp/www/UMIHAKU/contents/1521849666827/simple/KansatsuNote14.pdf>
- 渡辺洋子. 1973. 館山臨海実験所附近の動物相. お茶の水女子大学理学部付属館山臨海実験所研究報告, 1: 15-38.
- 渡辺洋子. 1975. 館山臨海実験所附近の動物相 (追補). お茶の水女子大学理学部付属館山臨海実験所研究報告, 2: 90-99.
- Weigert, A. and C. Bleidorn. 2016. Current status of annelid phylogeny. *Org. Divers. Evol.*, 16: 345-362.

(2021年1月20日受理)

**The Collection Information for the Specimens
of Polychaetes Figured on
“A Field Guide to the Polychaetes of Boso Peninsula,
JAPAN (CMNH Field Guide Series No. 14)”
Published in 2018**

Kensuke Yanagi
Coastal Branch of Natural History Museum and Institute,
Chiba
123 Yoshio, Katsuura 299-5242, Japan
E-mail: yanagi@chiba-muse.or.jp

Polychaete fauna around the coast of Chiba Prefecture has been reported as total 167 species of 37 families until 2011. In 2018, the field guide “A Field Guide to the Polychaetes of Boso Peninsula, JAPAN” was published and reported 67 species of 28 families of polychaetes. Many of these species which figured in the field guide, the voucher specimens have been deposited to the Coastal Branch of Natural History Museum and Institute, Chiba (CMNH). In this paper, I show the data for 47 specimens registered among these specimens.